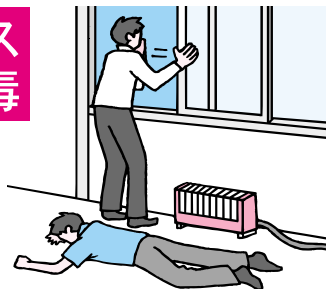


中毒

- ・ガス臭・車の排ガス → 「ガス中毒」
- ・食事と関係 → 「食中毒」
- ・薬品などの大量服用・誤飲 → 「薬物中毒」

ガス中毒



密閉された室内へは、ぬれたタオルで鼻と口を覆って救助へ。ガスの元栓（車はエンジン）を切り、窓を開け放って傷病者を風通しのよい場所へ。反応と呼吸を確認し、「なし」なら心肺蘇生を開始（※1～4ページ参照）。

メモ

都市ガスや車の排ガスには一酸化炭素が含まれます。一酸化炭素は血液のヘモグロビンとの親和性が強いので、その酸素運搬能力が失われて大脳や各種臓器が酸欠状態に。昏睡を示すような重症では、一刻も早く酸素吸入（高圧酸素療法など）を行わないと後遺症が残ります。

食中毒

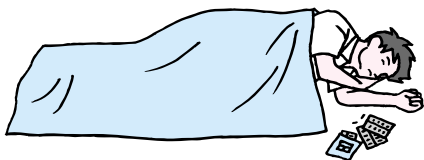


吐き気が強いときは十分に吐かせる。落ち着いたら、顔を横向けにし（顔の横に洗面器などを用意）、腹部を毛布などで保温して寝かせる。意識不明や衰弱状態では、そのような体位で気道を確保し、救急隊の到着を待つ（無理に吐かせない）。

メモ

食中毒はサルモネラ、腸炎ビブリオ、O-157などの細菌や、キノコ、フグなどの自然毒摂取が原因です。細菌性では輸液や抗生物質など、自然毒では胃洗浄と薬剤などによる治療が必要になります。

薬物中毒



医薬品、シンナーなど、何を飲んだかで初期手当は異なる。最初に119番通報し、飲んだ時刻、薬物の種類、量などを知らせ、指示を仰ぐ。

中毒110番 (365日24時間対応)

電話 072-727-2499

タバコ専用電話 (テープによる情報提供)

電話 072-726-9922